

# FASTAR <sup>★★★</sup>3rd \ オンライン開催 / DEMODAY

2021.10.27 wednesday 13:00-17:00



## 登壇企業情報

医療ヘルスケア



アットドウス株式会社 ..... P2



株式会社血栓トランスレーショナルリサーチラボ ..... P3



株式会社ソラハル ..... P4

フード



株式会社八代目儀兵衛 ..... P5

AI



アルム株式会社 ..... P6



株式会社調和技研 ..... P7

ものづくり



株式会社ブルー・スターR&D ..... P8



株式会社東京ダイヤモンド工具製作所 ..... P9



アンヴァール株式会社 ..... P10



代表者

代表取締役 中村 秀剛

住所

〒212-0032  
神奈川県川崎市幸区新川崎7-7  
かわさき新産業創造センター（KBIC）225号

ウェブサイト

<https://atdose.com/>

## 事業内容

### 超微量投薬を実現するモバイル点滴の開発

手軽に薬剤を投与できることから、治療によく利用される飲み薬（経口投与）。効き目を維持するには、薬剤の体内濃度が重要で、体内に入ると人間本来の代謝等の影響で濃度が減少します。そこで、定期的に飲むことで効き目のある濃度を保っているのが現状です。また、点滴では簡単に薬剤の体内濃度を維持できますが、ベッドや椅子で安静にしていなければならない、投薬中は移動も制限されるなど、患者のQOLの低下が課題でした。当社が開発した新しい投薬デバイス「アットドウス」は、医薬品を超微量に抑え、日々の生活を維持したまま長時間投与することが可能です。今まで治療手段がなかった患者への新たな投薬手段の提供や、薬の定期的・安定的・持続的な投与（アドヒアランス向上）、時間帯や病状・症状に合わせた無駄のない投薬ができます。さらに、治療しながら日々の生活を維持して患者のQOLの向上させることも実現。特に、高齢化社会での在宅医療やオーダーメイド医療に役立つデバイスとして製品化を計画中です。

## 強み・実績

当社のコア技術は電気浸透流ポンプで、電気の流れを水の流れに変えることができます。省電力・軽量・小型が売りで、特許申請中の技術により、シリコンゴムを使って安価に製造できるため、投薬デバイスの価値を高めます。現在、局所に微量に投薬することで副作用なく病気を治す「アットドウス・コア」、点滴を高濃度に微量に投薬することで持ち運び可能とする「アットドウス・モバイル」、シリンジポンプを小型化軽量化して遠隔制御可能とする「アットドウス・マルチ」の3つの製品を開発しています。

## マッチングニーズ

協業・共同開発：当社のデバイスの特徴は超微量に、センサー等のフィードバックにより管理された量で投薬できることです。この特徴を活かす医療機器メーカーや製薬企業とのマッチングを希望いたします。

資金調達：当社は2020/8および2021/8に合計9.5千万の資金調達（シード期）を実施しました。2022年第1四半期にシリーズAとして2億円の資金調達を計画しています。

## 代表者情報

大学卒業後、プラスチック射出成型金型の設計、業務システムの開発、Webシステムの開発などモノづくりに携わりながら、テクノロジーやITが世の中に与えるインパクトにワクワクする日々を過ごしました。前職では大手監査法人にてベンチャー企業の成長支援に注力。「テクノロジーやITが患者のQOL向上や家族の負担軽減に活用できるはず」という理念のもと、CTOと共に2017年にアットドウス株式会社を創業しました。



代表取締役  
中村 秀剛



代表者	代表取締役 神窪 勇一
電話番号	096-288-1742
住所	〒860-0812 熊本県熊本市中央区南熊本3-14-3 くまもと大学連携インキュベータ303号室
ウェブサイト	<a href="https://t-trl.com">https://t-trl.com</a>

## 事業内容

### 血栓に関わる検査及び診断薬の製造・販売

脳梗塞や心筋梗塞に代表される血栓症は、高齢化が進む現代社会で最も深刻な疾患の一つです。当社のミッションは、革新的な血栓検査や治療技術で血栓にまつわる病気を克服し、血栓症で苦しむ方々のQOLを向上させること。代表の神窪は長年血栓に関する研究を続け、米国Scripps研究所在籍中に新たな血液凝固メカニズム (Blood.130:1661,2017) を発見。これを基に高感度の微量トロンビン産生試験 (Smart Analysis of Thrombin Production: SMAT) を発明しました。現在、2種類の研究用検査試薬キットの商品化を進めています。これまでの検査では困難だった血栓を惹起する可能性を早期に判断することができ、抗血栓薬の創薬研究などにも応用できると考えています。今後、SMAT検査試薬のパイプライン化やカタムオーダーでの試薬提供サービスに拡げていく予定です。

## 強み・実績

血栓症の検査や治療の領域は、高齢化社会の進展と共に益々必要とされる市場です。当社はその最前線に位置しています。先端的な血栓形成のメカニズムに関する造詣が深く、血栓止血に関する最先端の知識や情報、更にモノ作りの高い技術力を有しているのが強みです。試薬供給の会社にとどまらず、研究者と共に血栓症治療の最前線に立ち向かい、国内外の血栓止血学の専門家として、グラウンドブレイキングの医療技術を創り出すことを目指しています。

## マッチングニーズ

- 協業・共同開発：脳梗塞や心筋梗塞などの血栓（所謂、血液の塊）に係る病気のリスクを未病段階において予測し、早期発見、さらに予防につながる血液凝固検査薬及び検査機器を共同開発していただける製販企業、事業会社を求めています。
- 資金調達：高齢化社会の中で血栓症の予防は喫緊の課題です。弊社は検査システム事業化の中で2022年9月頃に臨床開発試験のための資金、約6,000万円の調達を目指しています。出資頂けるVCや事業会社を求めています。

## 代表者情報

薬学博士。1984年鹿児島大学理学研究科生物化学修士課程終了後、(財)化学及血清療法研究所入所。血液由来の治療剤や検査・診断薬の研究開発に携わります。2003年にScripps研究所(米国)へ転職し、血栓形成に関する基礎研究に従事。2018年からはMERU VasImmune社(米国)と兼職。2019年帰国後、弊社を設立、代表取締役社長に就任、現在に至ります。当社の事業が血栓の病気で苦しむ患者様の一助になればと願っています。



代表取締役社長  
神窪 勇一



代表者	代表取締役 北村 健
電話番号	070-1322-7651
住所	〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町134 京都リサーチパーク内 ASTEMビル8階
ウェブサイト	<a href="https://soraharu.co.jp/">https://soraharu.co.jp/</a>

## 事業内容 —

### 小規模企業や個人セラピストのための「ソラハルClientFirst」

カウンセリングをはじめとする相談支援業務は属人性が強くなりがちで、標準化が遅れています。そこで、学生支援業務のリデザインや組織化・標準化を図ることで退学率を半分近く減らせた前職での経験から、SNS・チャットを利用したオンラインカウンセリングが対人援助の新たなインターフェイスとしての将来性や有効性を所持していると確信。そこで、独立開業した心理カウンセラーやビジネスメンター、キャリアコンサルタント等を対象に、クライアントの継続的なサポートや業務効率改善を実現するSaaS型プラットフォーム「ソラハル」を開発しています。

適切な仕組みやワークフローを提供し、業務のムリ・ムダ・ムラを省いて支援職の負担を軽減するとともに、データを活用した支援職のサポートや支援スキルの民主化に貢献したいと考えています。

## 強み・実績 —

前職で学生支援業務に携わり、アナログな業務の非効率さからくる限界を感じていました。そこで、現場の心理支援職の不安や負担を軽減することを通じて、誰もがケアとサポートに繋がるウェルネスフルな社会を実現したいと考えています。

ユーザー層は個人のカウンセラーだけでなく、教育機関や行政への事業展開も見据えてプロダクトを開発しています。

ハイクラスの心理専門職限定のオンラインコミュニティ「ソラハルBridge」には200人を超える会員が集まっており、こういった専門家と企業領域のニーズの橋渡しも計画しています。

## マッチングニーズ —

**協業・共同開発**：コーチ、カウンセラー、キャリアコンサルタントなど心理支援のハイクラス人材を200人以上抱えています。自社の社員や取引先、顧客等に心理支援を提供することを通じ、新しい価値創造をご検討の企業様との提携を希望致します

**資金調達**：シードラウンドの調達を2022年3月頃に希望しています。

健康経営やSDG's、ダイバーシティの実現、専門家偏在の解消による地方創生などに関心をお持ちのVC、CVC様とぜひお話をさせていただきます。

## 代表者情報 —

東京大学公共政策大学院法政策コース修了（MPP：公共政策学修士）後、専門商社勤務を経て、大学、大学院、専門学校等を複数所有する学校法人に奉職。広報、地域連携担当を務めたのち、学生厚生補導やキャリア支援業務に従事する。学生カルテの整備やカウンセリングルームの設置に取り組み、高止まりしていた退学率を半減させることに成功。その経験をもとに対人支援の標準化・脱属人化を目指して2020年にソラハルを設立しました。

国家資格キャリアコンサルタント、一般社団法人ACCN会員の肩書を持っています。



代表取締役  
北村 健



代表者	代表取締役社長 橋本 隆志
電話番号	075-201-5684
住所	〒600-8883 京都府京都市下京区西七条北衣田町10
ウェブサイト	<a href="http://www.hachidaime.com/">http://www.hachidaime.com/</a>

## 事業内容 —

### 多様なプロデュースでお米の価値を高めたい

はちだいでいげへえ  
“八代目儀兵衛”は、京都に代々続く老舗米屋。今までのお米の価値観を変えるため、お米のギフト事業の展開、京都祇園・東京銀座に”ごはんを食べる”体験型アンテナショップの展開、お米のコンテスト「お米番付」の開催など、幅広い活動でお米業界を盛り上げるトータルプロデュースを行ってきました。

昨今、日本人のお米離れが進み、子供は白ご飯を食べても「味がしない」と言ったり、日本の農業でも担い手を失いつつあります。そんな状況に危機感をもち、なんとかお米の素晴らしさや、それを主とする日本人の食文化、食事スタイルの素晴らしさをもう一度見直すきっかけを作りたいと考えています。また、他業種企業ともコラボレーションも多数実施し、お米の価値を高める活動を行っています。

## 強み・実績 —

先代より受け継がれた、お米を選び抜く才覚とお米のうまみをしっかりと残す精米技術により、数多くの美食家たちがそのうまさを認めるお米の銘店です。最上級オリジナルブレンド米「おきなかすみ翁霞」は、ミシュラン星付き料亭も御用達のお米。お米を色とりどりの風呂敷に包んだお米のギフトは、ギフト大賞を受賞しました。

## マッチングニーズ —

協業・共同開発：日本人の主食である「お米」との組み合わせは、無限の可能性があると考えています。2021年から「健康」と「美味しさ」を兼ね備えた高機能玄米「金のいぶき」を使った新しい事業展開、店舗展開を東京、京都で開始しました。

## 代表者情報 —

先代より受け継がれたお米を選び抜く技と味覚を元に、産地や銘柄だけでお米を選ぶのではなく、毎年自ら全国のお米を厳選吟味しています。その年その季節に合わせ、「美味しい」と感じられるお米を提供し続けることを信条に事業を展開。近年では、お米にふれる新しい機会の創出を目的に、異業種とのコラボレーションも積極的に取り組んだり、お米の価値を高める事業を展開し、お米業界全体を盛り上げるお米プロデューサーとして活躍しています。



代表取締役社長  
橋本 隆志



代表者	代表取締役 平山 京幸
電話番号	076-225-7743
住所	〒920-8204 石川県金沢市戸水1丁目61番地
ウェブサイト	<a href="https://arumcode.com/">https://arumcode.com/</a>

### 事業内容 —

#### 金属加工業界に生産性革命をもたらす「ARUMCODE1」

2006年創業以来、自動車・半導体の自動化装置を設計から製造まで一貫して請け負ってきましたが、中小の金属加工・機械部品メーカーがコストダウンと短納期化に悩んでいることを感じてきました。そこで、当社が培った自動化・デジタル化技術を活かして課題を解決したいと思い、金属部品をつくる工作機械を動かす際に必要なNCプログラムを、AIを使って自動作成するソフトウェア「ARUMCODE1」を開発しました。これを使えば、CADデータのファイルをPC上でドラッグ&ドロップするだけでNCプログラムを自動生成できます。部品の設計図面データからNCプログラムを作る手間がなくなり、生産にかかるコストや時間を大幅に減らすことが可能になるのです。

「中小企業が利益を出せる、経営者のストレスを軽減する製品を提供し続ける」。これが、当社の使命です。フライス加工に対応したARUMCODE1を皮切りに、今後は、旋盤加工や研磨加工に対応した製品シリーズを順次展開していきますので、ぜひ楽しみに。

### 強み・実績 —

3D・2DCADデータのNCプログラム自動生成できるだけでなく、大量図面順次解析機能によって、一度に500枚の図面処理可能。AIが自動生成したプログラムによる誤差は100分の2ミリという高い加工精度を実現し、自動見積機能や各マシニングの採算性、稼働率分析機能も備えています。また、スマートフォンを使った機械稼働状況のモニタリングも可能です。

### マッチングニーズ —

協業・共同開発：多品種少量生産の切削加工を行う製造部門を有する大手・中堅メーカー、産業用ロボットなどのメカトロニクス製品を製造するメーカーとの連携を希望します。

資金調達：アーリーラウンドの調達として、AIやファクトリーオートメーションに関心をお持ちのVC、あるいは事業会社を中心に、2022年3月頃の資金調達を希望します。

### 代表者情報 —

2000年に大阪府立高専（建設工学科）卒。在学中に、建築構造物のAI解析プログラムを学び、建築士を取得後は設計・現場管理・構造解析プログラミング等に従事。結婚を機に妻の故郷・石川県に転居し、機械部品加工・販売会社を経て06年に金沢市でアルムワークス（17年にアルム（株）に改称）を創業し装置事業を開始。14年に中小部品製造企業のスマートファクトリー化を実現するソフトウェア研究開発に着手し、20年にAIソフト「ARUMCODE1」を発表した。



代表取締役  
平山 京幸



代表者	代表取締役 中村 拓哉
電話番号	011-717-7017
住所	〒001-0021 北海道札幌市北区北二十一条西12丁目2 北大ビジネススプリング305号室
ウェブサイト	<a href="https://www.chowagiken.co.jp/">https://www.chowagiken.co.jp/</a>

## 事業内容 —

### AIの力で高度難易度な課題解決を目指す

当社のミッションは、「研究を実用化して社会に役立てる」こと。最先端・学術研究レベルのAIを利用し、お客様が抱える課題の解決や新規サービスの創出に貢献することを目標に主な3つの事業に取り組んでいます。

「AI研究開発事業」では、AIの導入を検討しているクライアントにコンサルティングを行い、AIの活用領域や実現性を見極める導入プランを提案。課題解決に必要な技術調査や、PoC（概念実証）を実施し、PoCの結果に基づいて、システム実装や運用、AIの再学習、チューニングまでをワンストップでサポートします。

「知財・ライセンス事業」では、多種多様な課題にあわせ、弊社の豊富なAI開発事例・ノウハウから構築したAIライブラリやAIエンジンをカスタマイズして提供します。

「人材育成事業」では、クライアントが自社の業務にAIを導入したり、新たなサービスを開発する際に専門的な技術指導を行い、不足するAI人材の育成の手伝いや勉強会、セミナーなどを実施しています。

当社ホームページから、様々なAI開発事例集をダウンロードしてご覧いただくことができます。

## 強み・実績 —

当社は2009年に設立された北大発認定ベンチャー企業です。AI研究で数多くの業績を持つ北海道大学調和系工学研究室の川村秀憲教授や、公立はこだて未来大学の鈴木恵二教授（設立時は調和系工学研究室教授）がCo-Founderであり、上記大学のみならず他研究機関とも連携して研究開発を行っています。

上記を背景にした高度な専門性を持ったAI研究開発能力が当社の強みです。

お客様の課題解決に向け、知的好奇心旺盛なAIエンジニアらに加え、大学の先生方によるアドバイザリを直接いただくことで、学術レベルのAI研究開発を日々行っています。

## マッチングニーズ —

協業：業界は限定せず以下をに興味いただける企業様を求めています。

- 共同開発
- ・AIコンサルティングサービス、PoC実施
  - ・各種AIエンジンのご利用、当社研究成果である多様なケーススタディを共同でサービス化
  - ・社内のAI人材育成支援サービス

資金調達：今後2022年7月末までに資本調達を検討しています。以下の方々とのマッチングを求めています。

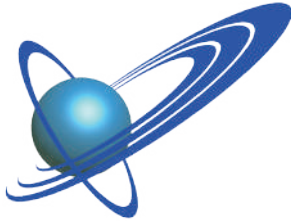
- ・当社と協業いただける事業会社の皆様
- ・VCやCVCの皆様（特にAI企業のグロース経験のあるVC等）
- ・金融機関などの皆様

## 代表者情報 —

Sapporo AI Lab事務局長。1986年慶応義塾大学商学部を卒業後、北海道拓殖銀行、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社を経て2011年に調和技研に参加し、代表取締役社長に就任。これまでに公益社団法人日本青年会議所「最先端技術が拓く未来フォーラム」、NTTデータ経営研究所「田舎×最先端テクノロジーによる新たな地方創生モデル」、北海道経済産業局ロボット関連ビジネス新規参入促進シンポジウム等、AIの業務導入や地域活性化に関する講演を実施。最近では、企業経営者向けにDX化に伴うAI活用の課題や事例についての講演・相談が急増しています。



代表取締役  
中村 拓哉



代表者	代表取締役 柴野 美雪
電話番号	042-711-7721
住所	〒252-0241 神奈川県横浜市旭区鶴ヶ峰2-41-54
ウェブサイト	<a href="http://www.blue-galaxy.co.jp">http://www.blue-galaxy.co.jp</a>

### 事業内容 —

#### 超音波洗浄装置・超音波バリ取り洗浄装置の製造販売

世界オンリーワンの超音波バリ取り洗浄装置メーカーです。「バリ」とは金属やプラスチック、セラミックス、ガラスなどの精密加工や成型加工の過程で発生する残留物や付着物のこと。バリは製造過程で必ず発生するものですが、これまでは人の手によって除去されていました。

そこで当社は、水の中に強力な超音波を照射して、直径10mmのキャビティ（微小真空核群～エネルギーボール）を無数に作り、その時に発生する衝撃力でバリを取り、同時に洗浄も行う超音波バリ取り洗浄装置を開発、現在、世界中に販売を続けています。『超音波バリ取り洗浄装置』によってバリ取りを自動化することで、省力化を推進し、品質を安定させることも可能です。当社の製品は、主に自動車業界で利用されており、通信機器製造（パソコンやスマートフォンの精密部品）や、機械加工業界の精密機械加工・電子・半導体・医療用部品（注射針や内視鏡、歯科医療関係）、配管部品製造業界（油圧機器、空圧機器部品）などにも利用されています。

### 強み・実績 —

競合はなく、特許や数多くのノウハウの積み重ねによって、世界オンリーワンの技術が完成しました。最重要なコア部品のバリ取り用超音波振動素子も日本で初めて内作に成功しており、トヨタをはじめ、日本の大手企業だけでなく、国内外からの引き合いも多くいただいています。2018年度には「文部科学大臣科学技術賞」を受賞。2021年はIPOを目指し、拡販を開始する予定です。

### マッチングニーズ —

協業・共同開発： 新型コロナウイルス感染拡大で、長距離のビジネス往来が難しくなる中、国内外の重要な製造業の集積地に地域密着型の実験室を設け、性能を証明。営業は、協業先に委託、受注を推進する。

資金調達： 東大阪、中国広東省東莞、台湾、タイ、アメリカに実験室を設置、増設。実験室の新設、運営資金、及び全実験室の情報管理ネットワーク構築費用として、2億5千万円を調達する。

### 代表者情報 —

2010年4月設立とともに代表となり、現在に至ります。当社の技術は、会長の柴野佳英が培ってきた、超音波洗浄に関する40年のノウハウがベースとなっており、数々の技術関連の大きな賞を受けてきました。近年は代理店と協力し、天津実験センター、東莞実験センターを新設。3月から稼働を開始し、新型コロナウイルス対策が必要な中国の営業にも力を入れています。世界市場を狙える製品だと自負し、製造販売に尽力しています。



代表取締役  
柴野 美雪





 株式会社東京ダイヤモンド工具製作所

 代表者	取締役社長 濱田 洋右
 電話番号	03-3723-8111
 住所	〒152-0031 東京都目黒区中根2-3-5
 ウェブサイト	<a href="https://www.tokyodiamond.com/">https://www.tokyodiamond.com/</a>

## 事業内容 —

### ダイヤモンド・CBN工具の製造販売

当社の主な事業は、電子・半導体、自動車、精密機器、医療、土木建築などの業界を対象に、ダイヤモンドを使用した加工工具を設計・製造し、加工プロセスに新たな価値を提供することです。1932年の創業以来、顧客や市場の高性能化と生産性向上、新たな加工方法の創造など、常にイノベーションに挑戦してきました。

研磨研削技術は、時代ごとに最先端の技術が求められるため、それに応えなければなりません。例えば、半導体製造の分野ではコアプロセッサの高性能化に伴う細線化への対応、自動車のEV化、5G・6G通信のための高性能デバイスなどが挙げられますが、高性能化は今後も続いて行くことでしょう。最高性能を追求し、貢献し続けることが我々の事業であり、ミッションです。

## 強み・実績 —

「第6回東京都中小企業ものづくり人材育成大賞知事賞」を受賞するなど、長年の加工ノウハウを人から人へ継承する仕組みがあります。また、歴史に裏付けされた設計力があり、課題解決力を個々の顧客に対してカスタムして提供できることが当社の強みです。その結果、1500社を超える顧客との信頼関係を築き、継続・成長させています。

## マッチングニーズ —

協業・共同開発：原子配列レベルまでの究極の研磨技術を有しており、その技術による事業化（CMP代替を含めて）に関心のある半導体装置メーカー、デバイスメーカー、または他の事業分野（CMPレベルの超精密平坦化）での装置メーカーとの共同開発を希望します。

資金調達：①上のような装置メーカーからの投資に伴う共同開発（JV的）と、②最先端技術シードからNewCo（新会社）設立ができるVCからの投資を希望します。

## 代表者情報 —

1988年に東洋大学を卒業後、大林道路株式会社を経て1990年当社へ入社。営業・製造・開発・財務・システム・経営企画を経て2018年6月より現職。ダイヤモンドの硬さと摩擦係数の低さの活用を考え、トライボロジー領域で複合メッキ、ダイヤモンドコート、固体潤滑複合材料の可能性の追求するなど、これまでのダイヤモンド工具開発とは異なるチャレンジを実施して来ました。昨今は、新たな技術革新のため、技術アライアンスを積極推進しています。



取締役社長  
濱田洋右



代表者	代表取締役 櫻井 重利
電話番号	090-7307-8555
住所	〒430-0856 静岡県浜松市中区中島2-29-5 リバティ中島壱番館301
ウェブサイト	<a href="http://www.aonbarr.co.jp">http://www.aonbarr.co.jp</a>

### 事業内容

#### 日本を資源大国に！

当社は「日本を資源大国に！」をスローガンに、海洋に含まれるマグネシウム・リチウムを採取し、水酸化マグネシウムを純マグネシウムに製錬してマグネシウム合金の原材料を生み出しています。また、中国が世界生産の80%以上を占める状況を打破すべく、国産の低CO2マグネシウムを自動車やロボットなど次世代基幹産業の構成材として供給したり、火力発電など多数の発生源からのCO2でジェット燃料を作るといった事業も展開。他にも、マグネシウムとCO2の燃焼反応を利用した発電方式で熱・電力供給とCO2固定化の一石二鳥を狙う、燃焼時に発生する3000℃の熱を使ったプラスチックのリサイクル事業や、メタンを熱分解したり水をISプロセスで分解することで水素を生成するといったことにも取り組んでいます。最近では、地下で再生可能エネルギー源となるメタン・水素を作るなど複合的な取り組みを実現すべく、企業・大学・研究機関と連携を進めています。これによって、地球全体の気候変動対策にも貢献していきたいです。

### 強み・実績

「二酸化炭素でも燃える」というマグネシウムの特質を活かし、海水からマグネシウム回収、燃焼過程で発生する高熱を使った発電とCO2固定化まで一連の工程にまつわる5件の特許出願を終えました。CO2を炭素として固定することでCCSでも使いやすく、CO2ネガティブで水素を生成することも可能です。

### マッチングニーズ

**協業・共同開発**：マグネシウム合金を作る軽合金メーカー。輸送機器メーカー。石炭・バイオマスなどの燃焼技術を持つメーカー。製錬に携わる企業。ガス分離、水素、COなど危険性のあるガスをハンドリングできる研究機関・企業、資源・エネルギーに関わる企業

**資金調達**：これまで資金調達は実施していません。実証用ミニプラント製作、R&D、特許PCT出願などの費用をが必要なので2021年度内の資金調達を希望します。

### 代表者情報

1962年生まれ。慶應義塾大学を卒業後、ヤマハ発動機株式会社でマリン直売営業、技術商社に所属。早期退職制度を利用して退職後アンヴァール株式会社を創業。2014年に東京駅のホームで昏倒して聖路加国際病院に救急搬送され横になることもできない激痛に耐えながらCT、血液検査と進むうちに白血球数が異常に多いことがわかりその日のうちに白血病と判明。しかし、慢性骨髄性白血病（CML）という特効薬のある病種だったため、服薬しながら現在も元気に活動中。入院中に「日本を資源大国に！」構想の実現に尽力しようと決めました。



代表取締役  
櫻井 重利